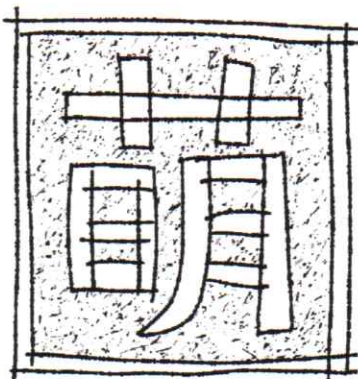


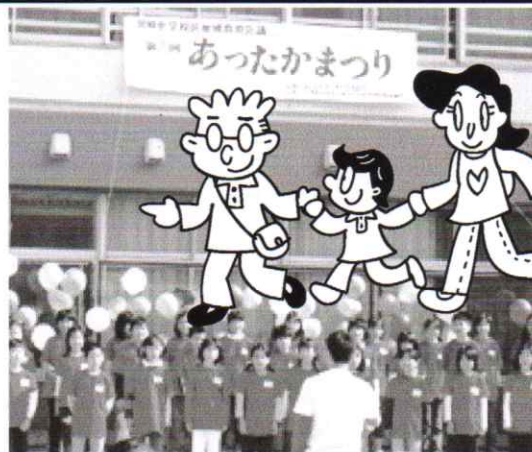


宮崎中学校区地域教育会議だより

第15号

「宮崎中フェスティバル&あったかまつり」開催！

秋薫る11月5日、第3回『あったかまつり』が宮崎中フェスティバルとの共催のもと、賑やかに開催されました。文化の秋にふさわしくステージ上では、星の光合唱団の元気な歌声が響き、宮崎中学校ブラスバンド部（あったかまつり初出演）による楽しい選曲の演奏や、天まで届きそうな迫力あふれる大塚太鼓、そして観客を魅了した北高吹奏楽の趣向を凝らした貫禄あふれる演奏、最後は練習の成果が出ているロックソーランの踊りで祭りは最高潮。模擬店やフリーマーケットの



星の光合唱団

風船コーナー、中村さんは、着ぐるみで奮闘



他、日本赤十字神奈川県支部にご協力いただいたパズル形式のクイズ問題や、地域の方々とのかみゆりや竹細工、凧作りなど昔懐かしい貴重な体験コーナー、賑わっていた風船コーナーもありました。どこを見ても大人も子どもも楽しめ、また地域の方との関わりが持てるいい機会のように思えました。宮崎中学校生のボランティアや先生方の活躍にも感謝いたします。風もない秋晴れの空の下、大いに楽しめた一日だったのでは……。 (佐藤)

○ ○ ありがとうございます ○ ○

あったかまつり実行委員長 斉藤 重喜

「宮崎中フェスティバル、あったかまつり」の大成功、本当に有難う御座いました。暖かな日差しの中で、沢山の方に来ていただき、地域とのふれあい、交流が出来たことを大変に嬉しく思っております。今回、共催にした事で昨年とは違ったことが出来ました。又一步地域に根ざした行事になれたと思います。子供ボランティアの参加、大勢の役員の皆様のお力で素晴らしい一日になりました。これからも、みんなで、地域を明るくし、子どもたちがのびのびと生活できる環境作りに、われわれ大人たちが、協力し、みんなで考え、そして、一人でも多くの方に参加していただけるよう、これからも宜しく願い申し上げます。

あったかまつりインタビュー

出演者の方々に演奏を終えての感想などを伺いました。

(インタビュー、写真撮影：佐藤)

● ロックソーラン ●



今年は2つの催しが合同になり、人が多くて良かったです。午後のほうが午前の部よりリラックスし声が出てました。年々踊りも上手になってきています。

毎年人気のこの演目、下は年長から小6まで、宮崎小を拠点に練習されているとのこと。

● 宮崎中学校ブラスバンド ●



今回が初参加ということで、先生はじめ舞台づくりの段取りが分からず、大急ぎで準備しました。外で出すのは初めてなのと、観客もいらっしゃることもあり、気が散ってしまいました(笑)

(次ページにつづきます)

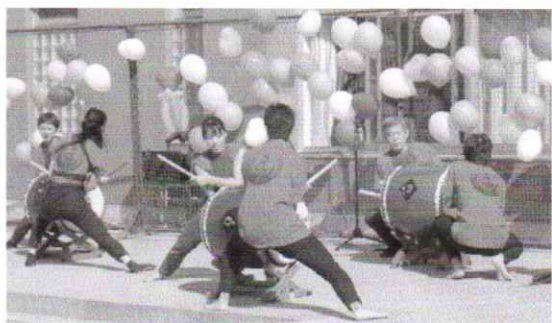
● 星の光合唱団 ●



天気も良くて、子どもたちも元気に歌えていました。

月4回の土日中心の練習で、若いボランティアの指導者の方も大勢いらっしゃり、グループ別に楽しく分かれて練習されているとの事。朝早いリハーサルもあり、はじめはなかなか声が出せずにいた子どもたちを、付き添いの親御さんスタッフが励ましなが、手拍子と一緒に歌われたのが微笑ましかったです。

● 大塚太鼓 ●



太鼓は老若男女、誰でも楽しめます。50, 60代でも年齢に合わせ、無理をせず楽しんでいます。その中でも、お互いの礼儀をわきまえつつ、チームワークを生かし、みんなで「楽しいぞー！」と全面に出して演奏しています。

今回は、2曲追加して、新曲を入れたので仕上げが難しかったそうです。イベントがない時には毎週日曜日に練習。また次は新曲を、と意気込みを聞かせていただきました。

● 北高吹奏楽 ●

40分近くの熱演。全国大会直前だそうです。今回は「あったかまつり」のための選曲で、趣向を凝らした見ても聞いても楽しい演奏を披露していただきました。貫禄のステージに観客も「さすが！」の一言。



イベント担当者より

時間調整に少し気を揉みましたが、演目が始まると、お客様がどんどん舞台の方へきてくださり、楽しくにぎやかに終えることができました。スタッフの皆さんありがとうございました。（地域教育委員会 則岡）

学校訪問



「萌」では、「命の大切さ」をテーマに、宮崎中学校区の各学校にインタビューを行っています。

第2回 宮崎小学校



本多先生、富田先生（教務主任）、和気先生、古谷先生（養護教諭）にお聞きしました。

●「命の大切さ」について教え方、伝え方は？

「命」については、大きな事件の後などには特に取り上げて考えさせるようにしています。普段は、学級指導の中で必要に応じてとりあげています。また、道徳では「生命尊重」という題材で学習する機会があります。

● 学年ごとに取り組んでいる事は？

1、2年では生活科、3年以上では、理科、総合的な学習で学んでいます。具体的な内容としては、人体、戦争、環境、性教育など、いろいろな角度から生命について学んでいます。



低学年では、手や体をきれいにすることの大切さを学びます。また、「おへその秘密」で命のつながりなど生命について学びます。3年以上では、学年に応じた性教育のビデオ（生命尊重や生き方）を見ることもあります。指導要領に添って指導しています。

● 学校における防犯教育については？

学級指導として、必要以上に恐怖感を与えないように、学年に応じた話し方が必要だと考えています。具体的な学校での取り組みとして、4年生のCAPの講習会があります。

*「CAP」とは、Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の略で、アメリカ合衆国で、小学生への暴行事件をきっかけに開発された教育プログラム。（編集部注）

今年度は、全学年対象に「防犯教室」を開く予定です。学校公開日11/24・25の午後から、全校生徒1300人に実施します。（個人もちの防犯ブザーの使い方も含む）



● 施設面では？

防犯強化という観点から、授業中は、校門をロックしています。来校者には、インターホンで対応し、子どもたちが安心して過ごせる環境作りに努めています。

● 地域の協力体制は？

平成17年3月より、地域の方々に協力いただき、安全パトロール隊を作りました。緑色のジャンパーや黄色のベストを犬の散歩や登下校時などに着て、子どもたちへのパトロールをしていただいています。

● 今後、地域の方々にお願いしたいことは？

子どもたちは、自分が周りの人から、愛されている、大切にされているということを感じられる環境の中で育っていくことが大切です。いいことを見かけたらその場でおおいに褒め、また、悪いことを見かけたときには、遠慮せずに愛情をもってしかってあげて欲しいです。「みんなで、子ども

たちを育てているんだ」ということが感じられるような地域にしたいです。

● お家の方へお願いしたいことは？

子どもたちを愛してください（具体的には会話、叱る、褒めるなど）。教室でパニックになる子は、家で満たされていない場合があり、外に主張したがる傾向があります。愛される基本的な場は家庭にあり、人としての基礎作りの場でもあります。忙しくてもお子さんとのコミュニケーションを大切にして欲しいと思います。人の痛みのわかる心豊かな子が育つことでしょう。

● 宮崎小学校の子ども達に望むことは？

自分のことを好きでいられる子に育って欲しい。思いやりとユーモアをもっていつも楽しく笑顔で過ごせる子でいて欲しい。全てのことが、プラス思考で考えられる子に、育って欲しいと思っています。

H17.11.2

お忙しい中、インタビューにお答えいただいた先生方、ありがとうございました。



インタビューを終えて

テーマについてどこから掘り下げたらいいか、緊張してインタビューに臨みました。が、先生方の温かいまなざしと言葉に触れて、和気あいあいとお話を伺うことができました。と、同時に教育現場の厳しさも感じられ、地域、家庭からの協力は今の時代、必要不可欠なのでは？ と思いました。より良い未来、子ども達のためにも、手をつなぐ時代なのではないでしょうか。（佐藤）



最後に宮崎小学校のシンボルマスコット“くりぼん”と私達、お話に出てきたジャンパーとベストも「着て見ました～」（インタビュー：佐藤、北原）

親子防犯教室を開催しました

生涯学習委員会では、11月13日(日)、宮崎中学校特別活動室にて親子防犯教室を開催しました。ビデオや着ぐるみのトラちゃんによる寸劇やロールプレイング、子どもたちの活発な参加によって盛り上がり、充実した防犯教室を行えたと思っております。

子どもたちを狙った凶悪な事件が起きている今、少しでも役に立てればと思います。また、アンケートからは、保護者の関心の高さがよくわかりました。

(生涯委員会 大久保)



インフォメーション

卒業式

3月10日(金)	宮崎中学校
	宮崎小学校
3月17日(金)	梶が谷小学校
	西梶が谷小学校

♪春のミニコンサート♪

地域教育委員会では、第2回「春のミニコンサート」を開催します。春にふさわしい楽しい音楽会を昨年に引きつづきお楽しみください。

場所：青少年の家 音楽室

日時：2006年3月4日(土) 14~15時30分
入場無料

くわしい内容は、追ってお知らせいたします。

(題字、カット 前田)

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。



大人が変われば
子どもも変わる運動



あなたの生活が、顔に!!

11月末に有馬中学校へ文化祭展示品のことで行ったが、生徒の元気な声が校内に響き、生徒一人一人が「こんにちは」と挨拶してくれた。その時の生徒の表情が大変にこやかで温もりのある顔を見て、今の中学生の素直な姿をありのまま見ることができた。15歳前後の青少年の日常生活が顔に現れていることを知らされた、と思う。この時ふと思ったのは、静岡県内の女子高校1年生が、理科実験用の薬品を買い求めて、それを自分の母親に飲ませ、毒殺しようとしたくんだという。人間として、女性として、あるまじき事件が全国へ報じられた。

こんなとき、新聞報道は学校側の発言として「生徒はまじめで、明るく良い生徒であった」と報じる。決して学校は、生徒の評価を悪く言わない。しかし、子どもが自分の親を殺そうとする時のその心情や、表情は正常な人とは大きな違いがあると思う。人の生命の尊さや、真の親と子の愛情の深さを知る子どもならば、親を「ばとう」とするか、刃物で傷つけることなどは決して出来るはずがない。腹を痛めて生んだわが子を殺そうとする母親の表情は、それこそ、すさまじい表情だろう。反対に、実の父母を殺してやろうとする子どもの心情や表情は、大変冷酷な顔に変わるであろう。

このように、人の顔はその人の生活や心の変化を率直に表すものである。温もりのある心の持ち主の顔は大変穏やかである。他人には常に冷やかに接する人の顔は、冷酷な程の顔となる。知的に優れた人の表情は、知性におおわれるといわれる。

人の顔は、これほどに、その人の今日に至るまでの生活環境が歴史絵のように現れているものだ。更に、深い心、美しい心を持つように努めながら、美しい顔になるようにお互いががんばりましょう。

(及川 利男)

編集後記

今回は、当会議の一大イベント「あったかまつり」の特集です。私は似顔絵師として参加させていただきました。盛会となった祭りの雰囲気や少しでもお伝えできればと写真をチラシや載せましたが印刷でうまく出るかどうかわかりません。祭りの写真撮影、取材、それに宮小インタビューと、今回はメンバーの佐藤さんが八面六臂の大活躍。お疲れさまでした。(前田)



もえちゃん

企画・構成：広報委員会

前田達彦 北原玲子 及川利男 鈴木栄子 斎藤重喜 村田篤 佐藤香代子 伊藤隆司

協力：梶が谷小学校PTA

「萌」へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。 tatsuno04510@yahoo.co.jp